

ミャンマー/ビルマご遺骨帰国運動

ウェブサイト:<http://mbr-rtj.net/>

事務局 横浜市港北区篠原町 2777 観音寺内 TEL 045-431-1434 FAX 045-431-2241

プレスリリース カテゴリー「ミャンマー少数民族支配地域内の旧日本軍 45,610 柱の遺骨調査」

2013 年 1 月 発信

報道関係者各位

記者会見のご案内

ミャンマー少数民族自治組織連合体・UNFCの幹部クン・オッカー氏来日

- ※ 世界が注視するミャンマー情勢。急速な民主化と和平の進展に伴い、日本企業の進出も始まっています。しかし、少数民族支配地域内には戦後70年近くたった今なお 45,610 柱もの旧日本軍関係者のご遺骨が未調査のまま眠っています。これらのご遺骨の帰国は遺族の悲願であり、み霊を祖国へお迎えすることは、私たち日本人の責務と考える私たちは、これらのご遺骨の帰国を実現するための運動をしています。
- ※ 当日は、当運動の国内中心メンバー、そして統一民族連邦評議会 (UNFC) 第 2 書記長のクン・オッカー氏、さらには UNFC と深い信頼関係を持ち現地調査をコーディネートするタイ日教育開発財団(タイ国認可)の所長である海老原智治氏も出席し、三者連携の運動についても会見します。

***** 記 *****

※期日 2013 年(平成 25 年) 1 月 31 日
※時刻 午前 10:30
※会場 厚生労働省内 記者クラブ(同省内 9 階記者会見室)
※出席者 林 秀穎 共同代表 曹洞宗 常林寺住職 東京都
小島 知広 共同代表 日蓮宗 安詳寺住職 東京都
柳下純悠 事務局 真言宗 観音寺住職 神奈川県
クン・オッカー氏 統一民族連邦評議会 第 2 書記長 ミャンマー
海老原 智治 タイ日教育開発財団 同財団所長 チェンマイ
他 当運動幹事、呼びかけ人

※会見要旨

- 「ミャンマー/ビルマご遺骨帰国運動」の趣旨と経緯について。
- ミャンマー国内の少数民族支配地域の現況について UNFC 第 2 書記長のクン・オッカー氏が語ります。
- 日本人の遺骨に関する現地情報について。
- 当運動に対する遺族関係者からの支援と期待の声の紹介。他。

■運動の概要

「ミャンマー/ビルマご遺骨帰国運動」は、「タイ日教育開発財団」と共同し、現地調査に当たっては、当運動の主要メンバーでありミャンマー少数民族自治組織 11 団体の連合体「UNFC」の結成に尽力した日本人平和活動家・井本勝幸と UNFC との厚い信頼関係のもと、UNFC の全面的な協力を得て行います。また本運動を、広く国民的な運動とすべく、事業に関して国民の理解と支援が得られるように社会に対する呼びかけ・寄付金集め・日本政府を含む国内関係各方面との連絡調整を行います。

■メンバーの概要

本運動は宗派を超えた僧侶と、運動の趣旨に賛同する一般のボランティアによって運営されています。

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当者名 柳下純悠 横浜 観音寺

事務局 横浜市港北区篠原町 2777 観音寺内 TEL 045-431-1434 FAX 045-431-2241